



3月まで発行しておりました『和夢街（わむたうん）いしのまき』をリニューアルし、この度、石巻ロイヤル病院・訪問看護ステーションふかや・居宅介護支援事業所ふかやに関する情報誌『季刊 和夢街だより』を発行することといたしました。

今回は、石巻ロイヤル病院の看護師が地域の行事に参加した様子と地域医療連携室からの情報を掲載いたしました。

広瀬地区防災訓練に参加して



災害時は平時と異なり、たくさんの負傷者が同時に発生することにより、応急手当や救急救命のための専門器具が圧倒的に不足し、入手困難になる恐れがあります。こうした状況は今後国内で発生する災害の際にも同様の事態が想定されるため、準備が必要であることは間違いありません。その一方で専門の道具が手に入らない場合、身の回りにある一般的な生活雑貨などを使って応急処置を習得しておくことが大切だと思います。

先日、石巻市広瀬地区防災訓練に地域の方々と共に参加し、救護・応急処置の方法については、看護師として指導にあたりました。この防災訓練は、地域と学校が一緒に取り組んでおり、子供から大人まで積極的に参加し、防災意識の高さに驚きました。本当に安全な環境を作るには、家庭だけではなく、地域全体で防災意識を高め、体制を整えることが大切だと実感できる訓練でした。今後も防災という観点から地域に貢献してまいりたいと思います。

富松 誠



地域医療連携室から



近年日本は超高齢社会に突入し様々な社会変化が起こる中、医療ニーズはどんどん高度化し複雑化しています。その一方、医療の現場は病床機能の厳格化や早期在宅移行促進などの政策により、入院治療の期間や条件が以前に比べよりシビアになっている現状もあります。そのような中においては、医療を必要とする患者様がその病態に応じてタイムリー且つスムーズに適切な治療・看護・介護・リハビリテーションを受ける必要があります。医療終了後も再び地域で患者様の望む生活が送れるということも大変重要です。そのためには地域における濃密な病院と病院との連携、医療機関と福祉施設との連携が鍵となります。その際、重要な役割を果たすのが地域医療連携室ということになります。地域医療連携室では大きく分けて3つの役割があることを皆さんはご存知でしょうか？それぞれどのような役割なのかをご紹介します。



1.前方連携…前方連携とは他医療機関等から患者紹介を受けた際、患者様を万全の体制でお受け入れるために行う業務全般のことで、具体的には

- ①紹介患者様の情報収集（診療情報提供書の受領や患者様の訪問調査等）
- ②担当医師の調整
- ③家族受診（担当予定医師）や家族面談（連携室）等の日程調整
- ④紹介先医療機関との転入院日程調整

等々の連携業務がそれにあたります。また、専門診療科の受診が必要な患者様や受診を希望される患者様のために、医療機関の情報収集や事前の受診申し込み、受診日時の調整等、患者様が迅速かつスムーズに受診できるよう当該医療機関やご家族と連絡調整し合うことも前方連携の業務の一つです。



2.院内連携…今日の医療においては患者様・ご家族に対してチームで治療・看護・介護・リハビリテーションを提供する事が極々当たり前になっております。患者様の入院が決まると、まず関係部署にその患者様の情報提供を行い受け入れ態勢を整えますが、入院当日の外來～病棟間の調整等も必要に応じ行います。入院後は日常的に、もしくは担当医からの病状説明や各種カンファレンス等に参加して、ご家族情報や経済面、社会的背景等のタイムリーな情報を提供します。また、各担当から新たにリクエストされる情報についても確認収集のうえ情報提供する等、治療目標達成に向かって患者様が適切な治療・看護・介護・リハビリテーションを受けられるようチームを支援する他、目標達成に向けての弊害となる社会的問題の直接解決を図ったりもします。

3.後方連携…患者様の退院先は、患者様本人やご家族の意向、医療の必要性等々により、ご自宅、有料老人ホームやケアハウス等の特定施設入居、老人保健施設や特別養護老人ホーム等の介護保険施設入所等々、多岐に渡ります。一口にご自宅と言っても、ご本人の状況やご家族の介護力、かかりつけの医療機関や介護保険サービス利用の有無等々、患者様を取り巻く環境はご家庭によって十人十色ですから、退院支援も十通りあるということになります。また、施設入所の場合でもご本人の状況やご本人・ご家族の意向、施設の特性や待機状況等、考慮すべき点や条件が多々あります。患者様が退院後、安心して、安全に、なおかつ主体的に生活を送っていただくために、適宜ご家族に退院後の方向性のご提案をしたり、各種情報を提供したりしています。後方連携とは、ご本人・ご家族の意思決定に基づき退院後利用予定の医療機関や介護保険事業所、ケアマネジャー等とのこまめな情報提供、情報交換により退院後生活へのスムーズな移行を支援する、ということ です。



石巻ロイヤル病院の地域医療連携室は、4月から津留副院長が室長を兼任し、副室長に千葉保健師と吉崎作業療法士が就き、大森主任以下、阿部、春山の各社会福祉士の新体制で、それぞれの専門性を最大限に発揮しつつ、前方・院内・後方連携に全力を尽くしておりますので、よろしくお願い申し上げます！！

